

専門課程シラバス

授業科目	治療論Ⅲ(臨床薬理学)		担当者	川崎美紀・中村光宏		実務経験	○(薬剤師)
開講時期	1学年後期	授業の方法	講義	単位数	1	時間数	24
授業概要	<p>薬理学の基礎知識と薬物療法について学び、薬物療法を受ける患者に対する看護師の役割と、安全対策を学ぶ。そして、薬物の人体へのはたらきと生体側の対応を理解し、疾患の原因をとらえ原因を除去するための薬の使用と作用を理解する。</p>						
授業計画	<p>1・2 薬理学を学ぶにあたって 薬理学の基礎知識</p> <p>3・4 抗感染症薬</p> <p>5・6 抗がん薬、免疫治療薬</p> <p>7・8 抗アレルギー薬・抗炎症薬</p> <p>9・10 末梢での神経活動に作用する薬物</p> <p>11・12.中枢神経系に作用する薬物</p> <p>13・14 循環器系に作用する薬物</p> <p>15・16 .呼吸器・消化器・生殖器・泌尿器系に作用する薬物</p> <p>17・18 物質代謝に作用する薬物、皮膚科用薬・眼科用薬</p> <p>19・20 救急の際に使用される薬物</p> <p>21・22 漢方薬、消毒薬</p> <p>23・24 輸液製剤・輸血剤</p> <p>終講試験</p>						
テキスト 参考文献	<p>系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進(3) 薬理学 第15版第7刷 医学書院 2024</p>						
成績評価 の方法	<p>筆記試験 授業態度</p>						

専門課程シラバス

授業科目	治療論Ⅲ(臨床検査)		担当者	椿安志		実務経験	○(臨床検査技師)
	1学年後期	授業の方法		講義	単位数		
授業概要	<p>診療の場では多くの検査が実施され、診断するための重要な役割を果たしている。検査目的や検査方法等、検査内容と疾患とのつながりを理解する。臨床検査の基礎知識を習得し、検査時の看護師の役割について理解する。</p>						
授業計画	<p>1・2 臨床検査とその役割</p> <p>3・4 おもな臨床検査</p> <p>5・6 おもな臨床検査、おもな検査項目と基準値</p> <p>終講試験</p>						
テキスト参考文献	<p>系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 第10版 第3刷 医学書院 2024</p>						
成績評価の方法	<p>筆記試験 授業態度</p>						